

## シグマ研究委員会昭和55年度第8回運営委員会議事録

日 時 昭和56年1月16日(金) 13:30～17:30  
場 所 原研本部第7会議室  
出席者 塚田(委員長 日大), 中島(法大), 大竹(動燃),  
松延(住友原工), 飯島(NAIG), 原田, 田中, 五十嵐,  
菊池(原研)  
オブザーバ: 松本, 浅見(原研)

### 配布資料

1. 前回(55.11.28)議事録(案)
2. BNL核データ評価シンポジウムのペーパー・リスト
3. 「JENDL-3計画」に関する答申
4. ヨーロッパの評価済み核データファイルに関する資料

### 議 事

1. 前回議事録確認  
資料(1)により確認を行った。
2. NEANDC 委員及び委員長の交代  
塚田氏よりNEANDCの日本の委員を五十嵐氏(原研)と交代したいとの申し出があり了承された。五十嵐氏からは各委員の御協力をお願いしたい旨の挨拶があった。また、塚田氏より、来年度からのシグマ研究委員長を原田氏と交代したいので了承して欲しい旨の話があった。
3. 事務局報告
  - (1) 1980年 討論会会計報告(浅見)  
昨年12月の討論会の会計および出席者数を過去2回の研究会と比較して報告された。今回の討論会の総支出は約30万円であった。  
これに関連して、討論会の反省点の討議が行われ、Covarianceについ

ては重複する話が多かったこと、使う側からの話が少なかったこと等が指摘された。

(2) 核データセンターの来年度予算（田中）

来年度予算の大蔵査定等の概要について説明があった。

(3) BNL シンポジウムの論文リスト（浅見）

資料(2)の説明。これらのネガが山室氏（東工大）より核データセンターに提供された。

(4) 10 - 50 MeV 核データの Newsletter（塚田）

BNLのBhat氏より10-50MeV核データのNewsletterの発行について連絡のあったことが報告された。手紙のコピーを後で各委員に郵送するので投稿材料があったら田中氏へ連絡すること、実験のグループにもアナウンスするとの説明があった。

4. JENDL-3 検討小委員会報告

原田氏より、小委員会での検討の経緯の説明に続いて、資料(3)の本文の解説が行われた。内容、字句について逐次審議がなされ、1部の字句の追加・削除を行って答申案は基本的には了承された。今後、これらの資料を本日の欠席者に送って意見を聞くとともに、さらに細部の検討を行って印刷にすることにした。その際、表1のcaptionをもっと詳しくすることにした。また、これらを学会誌の資料欄に投稿することにした。

なお、この答申書に関して、資料を印刷するに当っては時間をかけて手を入れた方がよい、印刷したものは委員以外にも広く配布した方がよい等の意見が出た。

5. 来年度計画の検討

(1) 作業計画

来年度より発足する核融合炉定数WGの作業内容、グループの編成等について議論が行われ、とくに、大学関係のグループの作業と競合する部分があるので十分注意して作業を進める必要があることが指摘された。また、燃料サイクル核データWGについての久武氏の伝言が紹介された。このWGは3月に最終会合を開いてひとまず解散することであった。

各WGの来年度計画は次回に審議することにし、各WGリーダーへ計画書の提出の依頼を出すことにした。

## (2) 本委員名簿

来年度の本委員は、今年度と全く同じのまゝにする案が事務局より提案され、了承された。

## 6. ヨーロッパ評価済み核データ・ファイル

田中氏より、ヨーロッパの評価済み核データの統一ファイル作成についてその後の動きについて資料(4)を用いて説明があった。この作業のためにNEACRPにad-hocグループが発足し、作業は既存の評価済みデータを集めて選択することから始められ、JENDL-2のデータが公開前に使用できるかとの問合せのあったこと等が紹介された。これに関して議論が行われ、次のような意見が出た。

- この件についての現在の日本の窓口は適当でない。
- ヨーロッパのファイルは非公開のものになるのではないか、公開、非公開の対応はシグマ委で態度をはっきりさせておく必要があるのではないか。
- この作業グループに積極的に参加するかどうかについては未だ議論していない。この件については、長期的な考え方に立って決める必要がある。
- この件は本委員会で検討しておく必要がある。

その結果、この件に関し、本委員会（特別専門委員会）を学会の前日（3月26日）に開催し検討することにした。

## 7. 学会特別会合

松延氏より世話人の案が紹介され、討論を行い、(1)BNLシンポジウム報告（山室氏、45分）、(2)核データファイルの諸問題（弘田氏、五十嵐氏、90分）、座長は飯島氏とすることにした。

次回は2月20日（金）11時半より東海研で行う予定。